

20

現状の表示器の SRAM データを確認したい！

20.1	SRAM データをアップロードしてみよう！	20-2
20.2	設定ガイド	20-6

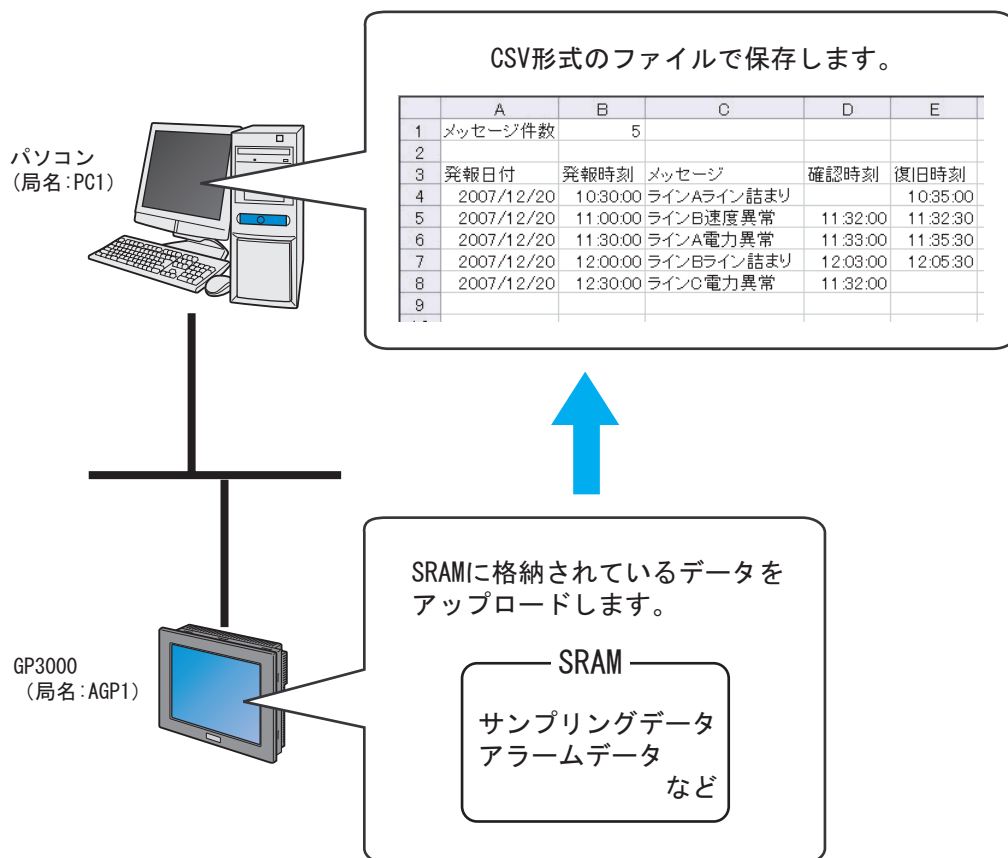
20.1 SRAM データをアップロードしてみよう！

表示器のバックアップメモリ (SRAM) に格納されているデータを CSV 形式のファイルとしてアップロードすることができます。

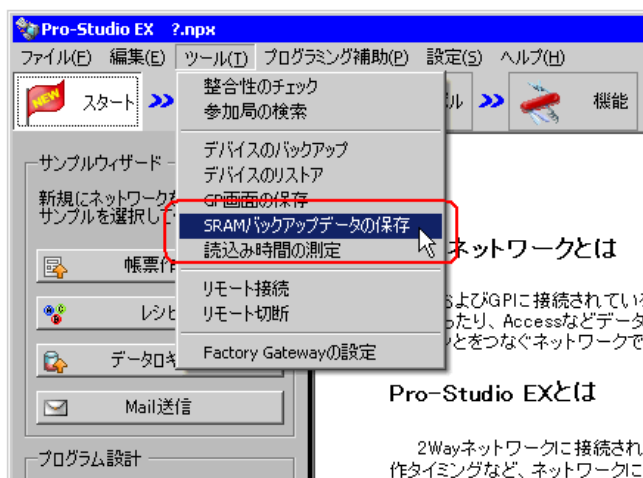
ロギングデータやアラームデータなど、さまざまな種類のデータを確認することができます。

MEMO

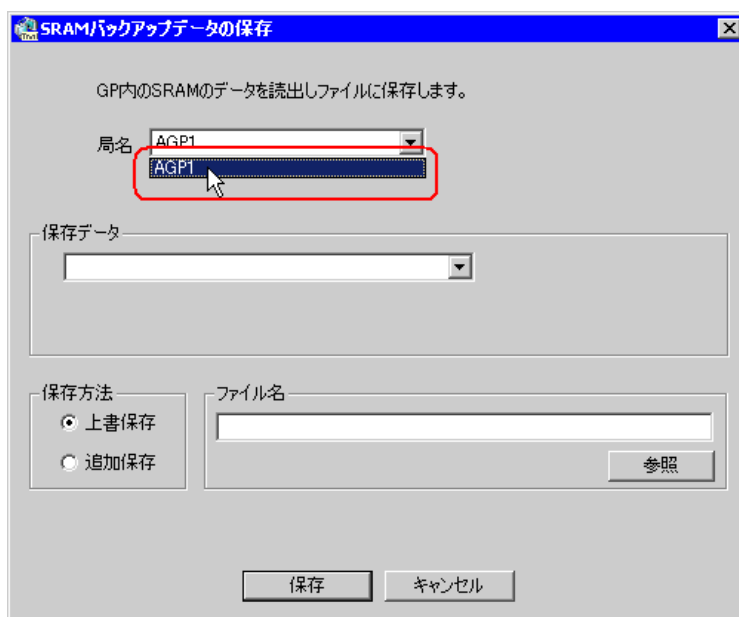
- Pro-Server EX 局は、バックアップの対象にはできません。
- 表示器によりバックアップできる SRAM のデータが異なります。詳細は「20.2 設定ガイド」をご覧ください。



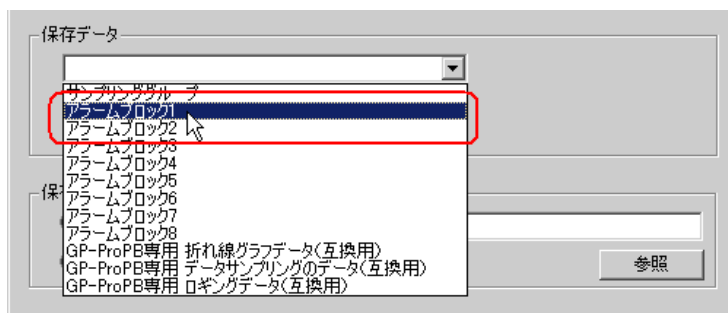
- 1 メニューバーの「ツール」から、「SRAM バックアップデータの保存」をクリックします。



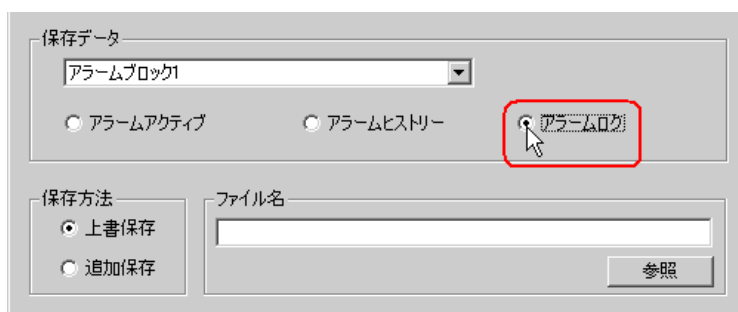
- 2 「局名」のリストボタンをクリックし、データをアップロードする局名「AGP1」を選択します。



3 [保存データ] のリストボタンをクリックし、保存データ（例：アラームブロック）を選択します。



4 アラームデータの種類を選択します。

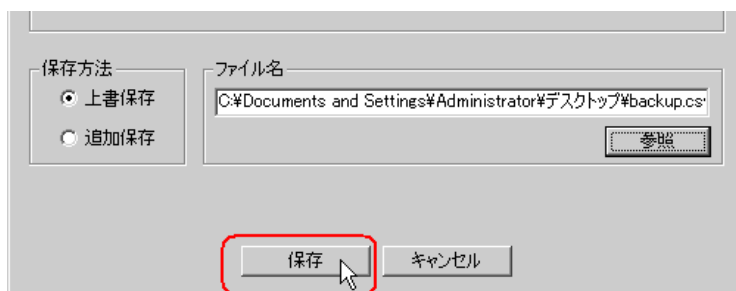


MEMO ・ 手順3で「サンプリングブロック」を選択した場合は、サンプリング番号を入力します。詳細については、「20.2 設定ガイド」をご覧ください。

5 [保存方法] で、[上書保存] をチェックします。



- 6 [ファイル名] の [参照] ボタンをクリックし、データを保存する場所とファイル名を設定し、[保存] ボタンをクリックします。



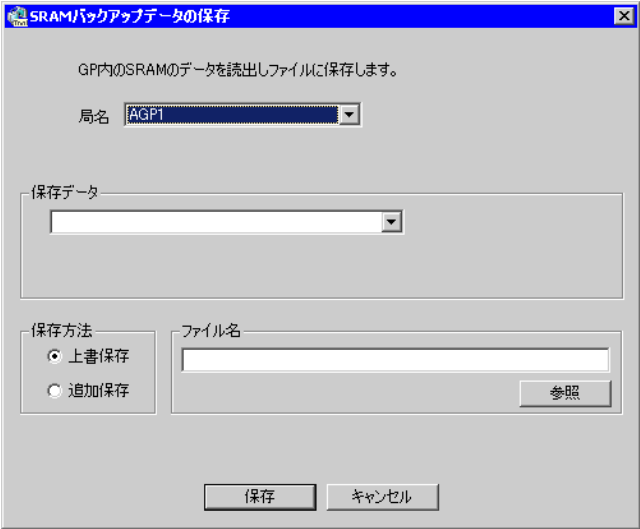
データが正常に保存されると、「保存は正常に終了しました。」というメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、処理を終了します。



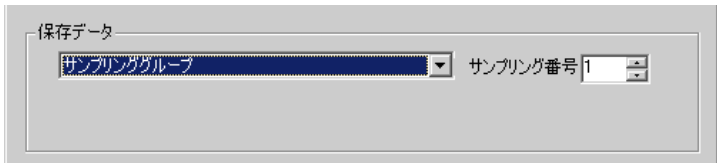
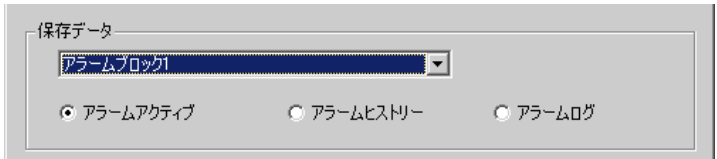
- MEMO** ・ 指定したバックアップデータが SRAM にはない場合は、下記のメッセージが表示されます。



20.2 設定ガイド



設定項目	設定内容
局名	SRAM バックアップデータを読み出す参加局を選択します。 MEMO リストには、ロード中のネットワークプロジェクトファイルに登録されている参加局が表示されます。

設定項目	設定内容
保存データ	保存するデータの種別を選択します。 参加局によって保存できるデータの種別が異なります。 GP シリーズ局 ・ ロギングデータ ・ 折れ線グラフデータ ・ サンプルングデータ ・ アラームヒストリーデータ ・ アラームログデータ ・ アラームブロック 1～8 GP4000/LT4000 シリーズ局、GP3000 シリーズ局、WinGP 局、LT3000 局 ・ サンプルンググループ サンプルング番号を、「1」～「64」までの範囲で入力します。  アラームブロック 1～8 データの種別を選択します。  ・ GP-ProPB 専用 折れ線グラフデータ（互換用） ・ GP-ProPB 専用 データサンプルングのデータ（互換用） ・ GP-ProPB 専用 ロギングデータ（互換用） MEMO ・ GP4000/LT4000 シリーズ局、GP3000 シリーズ局、WinGP 局および LT3000 局で『GP-PRO/PB III for Windows』からコンバートしたプロジェクトファイルの折れ線グラフ、サンプルング、ロギングデータをアップロードする場合、該当するデータの「互換用」を指定してください。 ・ アラームデータまたはサンプルングデータを読み出す場合、日付データは「yy/mm/dd」として扱われます。
保存方法	既存のデータファイルに保存する場合の保存方法を選択します。 ・ 上書保存 データを上書き保存します。新規にファイルを作成する場合、または、既存のデータファイルに今回のデータを上書き保存する場合に選択します。 ・ 追加保存 既存のデータファイルのデータに、今回のデータを追加して保存します。
ファイル名	データを保存する場所とファイル名を設定します。[追加保存]を選択した場合は、[参照] ボタンをクリックし、既存のファイルを選択します。

